

## ■ 東芝キャリアグループ第6次環境アクションプラン

活動領域	活動内容	2018年度			
		目標	実績	評価	まとめ
モノづくりの 環境負荷低減	温室効果ガス総排出量の抑制 <sup>※1</sup>	6.1万 t	5.0万 t	○	・高効率機器(空調機・モータ)、LED照明化 ・開発設備や製造設備の改善により削減
	温室効果ガス総排出量原単位 <sup>※2</sup> の改善 (2013年度基準)	96%	88%	○	
	廃棄物量 <sup>※3</sup> の抑制	0.29万 t	0.25万 t	○	・廃棄物の再資源化推進により削減
	廃棄物総発生量原単位の改善 (2013年度基準)	98%	89%	○	・廃棄物抑制施策や発生源管理により削減
	水受入量原単位の改善 (2013年度基準)	98%	44%	○	・水の再利用や漏水対策により削減
	化学物質総排出量原単位の改善 (2013年度基準)	98%	47%	○	・コンプレッサー粉体塗装化等により削減
製品・サービスの 環境性能向上	CO <sub>2</sub> 排出抑制量 <sup>※4</sup> の拡大 (累計 <sup>※5</sup> )	149万t	177万t	○	・エネルギー効率の高い機種 of 拡販による
	省資源化量の拡大 (累計 <sup>※5</sup> )	1.7万t	2.0万t	○	・軽量化した製品の拡販による
	循環資源 (再生プラスチック) 使用量の拡大 (累計 <sup>※5</sup> )	146t	169t	○	・再生プラスチック使用部品の新規採用による
	エクセレントECP創出数 (累計 <sup>※5</sup> )	8製品	12製品	○	・省エネNo.1製品の創出による

注) 原単位目標には「連結売上高」を使用しています。

※1 国内の電力換算係数は5.31、海外はGHGプロトコルを使用しています。

※2 国内の電力換算係数は、電気事業低炭素社会協議会のデータを使用しています。

※3 廃棄物総発生量から有価物を除いたもの。

※4 代替想定製品のCO<sub>2</sub>排出量 - 出荷製品のCO<sub>2</sub>排出量 (使用段階の1年分の排出量)

※5 第6次環境アクションプラン期間内(2017年度～2020年度)での累計

<集計対象会社> : 8社…東芝キャリア(株)、東芝キャリアエンジニアリング&ライフサポート(株)、富士冷熱工業(株)、東芝テクノシステム(株)、東芝キャリア空調販売(上海)社、東芝キャリアタイ社、TCFGコンプレッサ(タイ)社、東芝キャリア中国社